

村民の皆さまへ

自助・共助・公助で命を守る。

令和6年元旦に発生した能登半島大地震では、能登半島地域に甚大な被害をもたらしました。また、道路の寸断で孤立地域が生まれ、支援の難しさが浮き彫りにされました。更に、近年、地球温暖化などの影響や線状降水帯の発生により各地で大きな自然災害が発生し、いつ・どこで・どのように災害が発生するか、予測のつかない現状があります。そのような中で、村としては、地域住民の安全を守るために防災対策の充実に努めている所ですが、安全な地域づくりは、行政機関の活動だけでは不十分で、村民の皆さまひとり一人が日頃から防災意識を高く持ち、自分や家族の身の安全を守る取組み(自助)や、地域の皆さまで助け合う取組み(共助)を続けていき、万が一の災害に備えることが防災の原点と言えます。今回配布した防災ハザードマップ改訂版は、皆様の近くの危険な箇所などを地図に掲載しています。また、防災に対する日頃の心構えや準備物の例などもイラスト等で分かりやすく掲載しています。是非とも、目に付くところに常備され、家族や地域で災害時の集合場所や避難経路など、災害に対する話し合いの中でご活用いただければ幸いです。

山添村長

本書の使い方

本書は、いずれ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日頃から内容に目を通し理解を深めていきましょう。

本書の特徴は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しています。通常時は、地図部分や「わが家の防災・緊急情報メモ」ページが見える状態で、壁などにピン留めして掲示するか、ヒモなどでつるして身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

索

村民の皆さまへ 本書の使い方 索引	1
避難行動判定フロー	2
避難の心得	3
水害の避難情報と警戒レベル	4
特別警報をご存知ですか?	5
非常時持出品の準備&チェック	6
わが家の防災対策&チェック	7
土砂災害	8
風水害対策	9
洪水ハザード情報について	10
地震対策	11
火災対策	12
ハザードマップの見かた・ライフライン	13
公共施設・集会所	14

引

全体図	15・16
詳細図 No.1	17・18
詳細図 No.2	19・20
詳細図 No.3	21・22
詳細図 No.4	23・24
詳細図 No.5	25・26
詳細図 No.6	27・28
詳細図 No.7	29・30
詳細図 No.8	31・32
浸水継続時間	33・34
わが家の「防災・緊急情報」メモ	(裏表紙)

発行:山添村(問い合わせ:総務課 0743-85-0041)

<https://www.vill.yamazoe.nara.jp>

作成:令和6年12月

避難行動判定フロー

P17～P32の詳細図で自分の家がどこにあるのか確認し印をつけてみましょう。

災害の発生の可能性が高くなると予想されるとき

災害発生の可能性が高くなった場合
避難することが可能か。

いいえ

家で一番安全な場所や近隣の安全な
場所に避難して身の安全を確保して
ください。

身の安全
を確保！

はい

一時避難所指定の地区公民館へ避難し
てください。
※一時避難所の指定がない地区は山添
村が開設する避難所(東山公民館・総合
スポーツセンター・豊原公民館)へ避難
してください。

はい

警報が発令し一時避難所が危険な場合、
避難することが可能か。

いいえ

一時避難所の安全な場所に避難して
身の安全を確保してください。

身の安全
を確保！

はい

山添村役場で開設する避難所(東山公
民館・総合スポーツセンター・豊原公民
館)へ避難してください。

東山公民館・総合スポーツセンター・豊原公民館以外の指定避難所は
警報や災害の状況に応じて開設します。

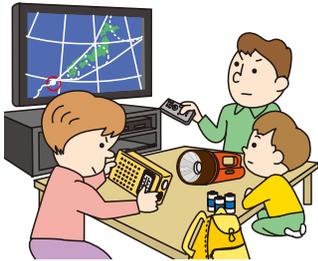
◎確認結果を裏表紙の『わが家の「防災・緊急情報」メモ』に記入しましょう。

避難の心得

避難のポイント

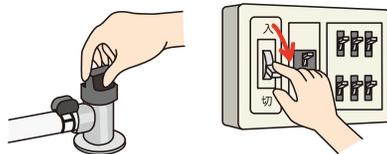
正確な情報の入手

テレビ・ラジオで最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



避難する前の確認

避難する前に、電気・ガスなどの火を消し、避難所の位置を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



安全な避難路を選ぶ

避難はできるだけ高い道路を選び、水路などには十分注意しましょう。また土砂災害警戒区域を避けるようにしましょう。



非常持出品の事前準備を

避難するときの荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう。



徒歩での避難が基本

車での移動は緊急車両の通行のさまたげになります。また浸水すると車が動けなくなりますので、特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



要配慮者への協力

お年寄りや子供などは早めの避難が必要です。近所のお年寄りが避難する場合には、協力しましょう。



万が一、逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。



動きやすい服装での避難を

避難するときは、動きやすい服装で2人以上での避難を心がけましょう。



大雨の際の危険箇所

地下道(アンダーパス)

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまる恐れがあるので、車が入らないようにしましょう。浸水・冠水の危険を感じたら、速やかに車を高台に移動させましょう。



車両の場合、約30cm以下の冠水で走行困難になる場合があります。

水害の避難情報と警戒レベル

■水害の避難情報と警戒レベル

▶市町村が出す避難情報に注意し、避難しましょう

▶気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)

河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)

警戒 レベル	状 況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水・高潮 注意報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
4 相当	氾濫危険情報 土砂災害 警戒情報
3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2 相当	氾濫注意情報 ——
1 相当	——

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

# 特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

## 特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

## 大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合（噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける）
地震（地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合（緊急地震速報（震度6弱以上または長周期地震運動階級4）を特別警報に位置づける）

### 特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されます。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・気象庁ホームページ



防災無線・広報車

- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、気象庁HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

**気象庁** 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4  
電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917（耳の不自由な方向け）



気象庁ホームページ

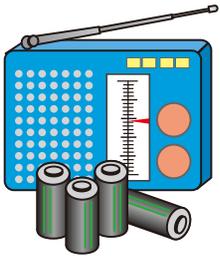
# 非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### 携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

### 救急医療品



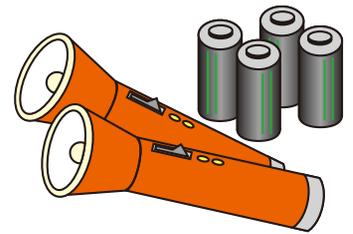
- 常備薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤
- 持病の薬

### 貴重品



- 現金
- 預貯金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書
- マイナンバーカード

### 懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

### 非常食品



火を通さずに食べられるもの、食器など

- カンパン
- 非常用食品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- 缶詰
- ミネラルウォーター
- 栓抜き
- 紙コップ

### その他

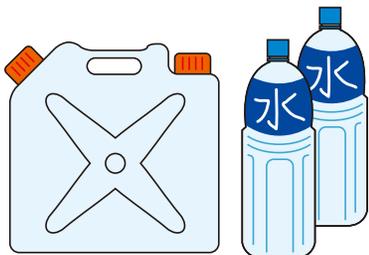


- 衣類(下着・上着など)・個々の生活必需品
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- 食品用ラップフィルム
- 雨カッパ
- ライター
- 充電器
- 生理用品
- 離乳食
- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 予備めがね・補聴器
- 防災ハザードマップ(本書など)

## 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック✓しましょう。

### 飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど

### 非常食品



- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

### その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

## 非常時持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

### 避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)スコップなど。



### 阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、ボールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限が迫ったものから順に入れ替えておきましょう。

# わが家の防災対策&チェック

## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

# 1

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

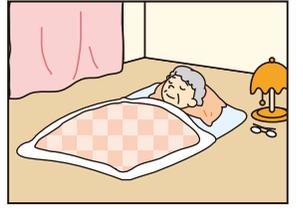
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



# 2

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



# 3

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



# 4

安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

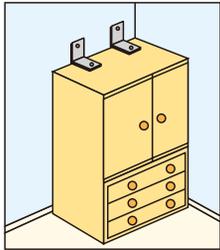
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

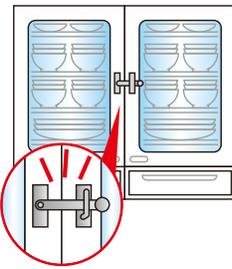
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



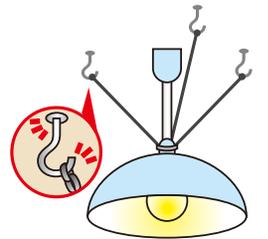
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



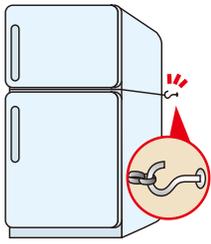
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



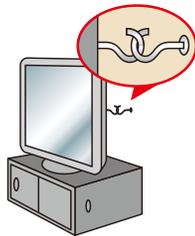
### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



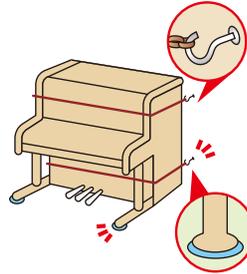
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。またテレビの上には水槽や金魚鉢を置かない。



### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### 雨どい

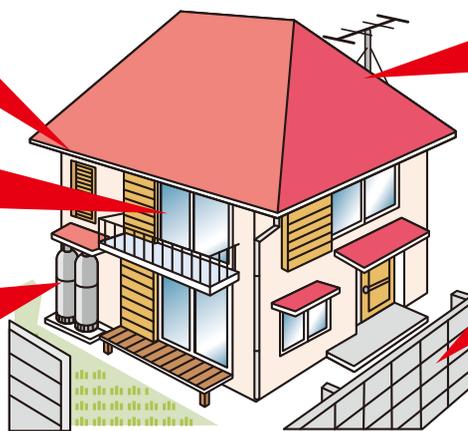
継ぎ目のはがれ、塗料のはがれなどを確認。落ち葉や土砂が詰まっていたら取り除く。

### 窓ガラス

窓枠のガタつき、ゆるみなどがあれば補強する。飛散防止フィルムを貼る。

### 屋外の設置物

プロパンガスのボンベはしっかり固定する。強風で飛ばされたり、浸水で流されたりしそうなものは確認する。



### 屋根

かわら・スレートのひび割れやずれなどを点検する。不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

## 地域(自主防災組織)での防災活動

阪神淡路大震災のときに、家などの下敷きとなった方の多くを救助したのは、隣人や友人など共助によるものが62.6%を占めていました。大災害が発生すると、警察や消防では十分に対応できない可能性があります。「自分たちの村は自分たちで守る」という意識のもと、いざというときは地域の自主防災組織を中心に協力し助け合い、防災活動に取り組みましょう。

### 平常時の活動

- 防災研修会を開催(防災知識の普及)
- 防災点検(地域の危険箇所や要援護者の把握等)
- 防災訓練(防災活動に必要な知識・技術の習得)
- 地域防災情報紙の発行



### 災害時の活動

- 初期消火や救出・救護
- 避難誘導
- 避難所での給食・給水等の活動
- 情報収集と伝達(被災状況・避難者情報等)
- 避難所の運営



# 土砂災害

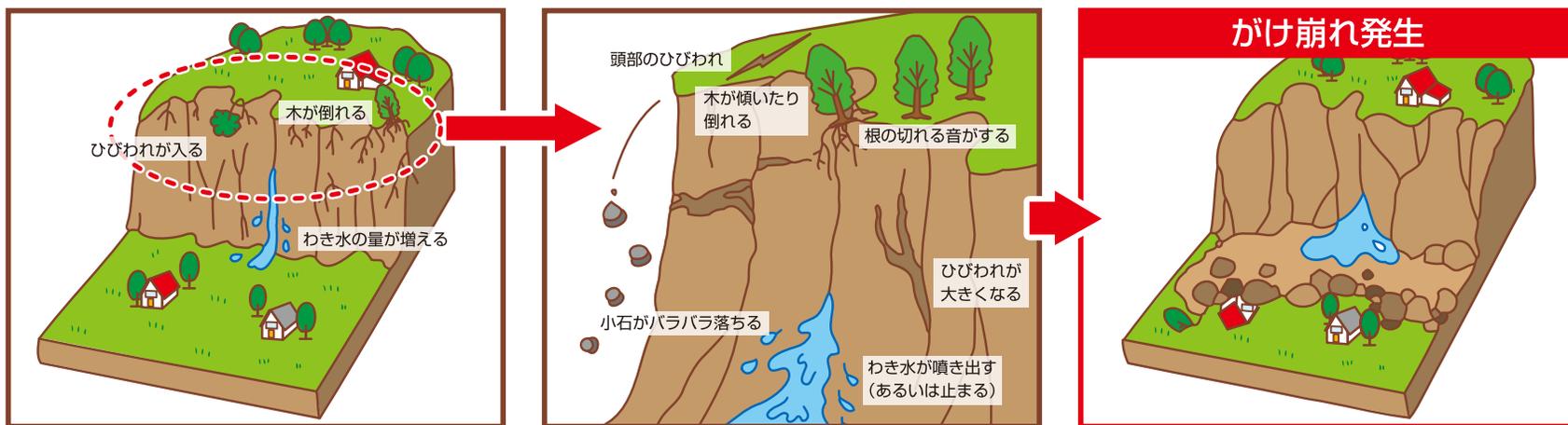
土砂災害のおそれのある地区は「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」とされています。自分の家がこれらの土砂災害のおそれのある地区にあるかどうか、ハザードマップで確認しましょう。

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ（急傾斜地の崩壊）、土石流、地滑りの3種類に分類される。

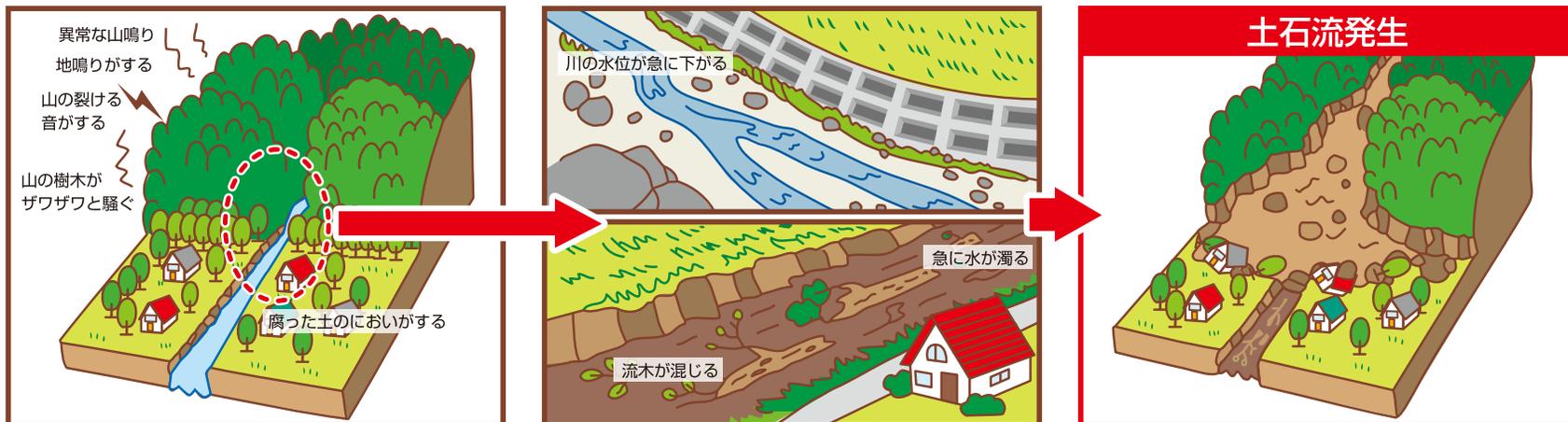
### がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流速 20 ~ 40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

# 風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

まずは、  
 確実な情報が大事  
 その次に迅速な対応



### 大雨注意報 ・警報の 発表基準

### 大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれ  
 あると予測される場合。

- ・表面雨量指数基準 6
- ・土壌雨量指数基準 90

### 大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる  
 おそれがあると予測される場合。

- ・表面雨量指数基準 13
- ・土壌雨量指数基準 120

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

## 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	傘をさしていてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。	猛烈な雨。息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

## 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	つかまらなると立ってられない。風で飛ばされた物で負傷するおそれがある。	立ってられない。屋外での行動は危険。道路標識が傾く。

## 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。  
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上 44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上 54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

## 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。  
 発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、  
 気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 村や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるように準備をする。

常に気象情報には、  
 注意して  
 おきましょう！



# 洪水ハザード情報について

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 1

### 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

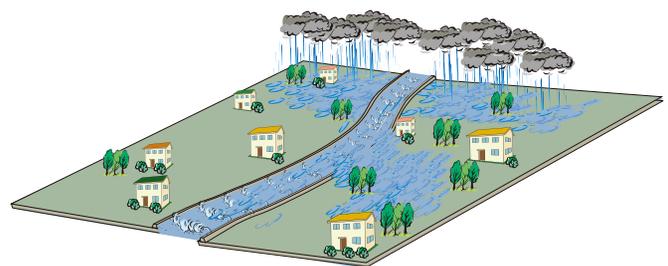
#### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



#### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



## 2

### 洪水情報

#### 洪水注意報(気象庁)

- 大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

#### 洪水警報(気象庁)

- 大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

#### 洪水危険箇所

- この「山添村防災ハザードマップ」に掲載している「洪水浸水想定区域」は、淀川水系名張川の洪水予報区間について、水防法の規定により想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- 雨の降り方によっては、地図上に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。

## 3

### 防災気象情報などの入手方法

#### 防災情報提供センター 国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。

- 川の防災情報
- 気象警報・注意報
- 気象情報
- 雨雲の動き
- 地震情報
- 津波警報・予報
- 噴火速報・警報・予報
- 潮位関連情報



# 地震対策

地震発生！そんなときどうする

## 地震の時はどのように行動したらいいか？

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。

そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能など、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

### 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。



### 家庭で屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外に飛び出さない。
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。



### 山やがけ付近にいるとき

- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。



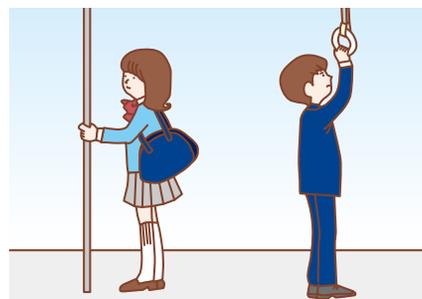
### 人が大勢いる施設（大規模店舗などの集客施設）にいるとき

- あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う。
- 従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。
- 吊り下がっている照明などの下から退避する。
- あわてて出口や階段に殺到しない。



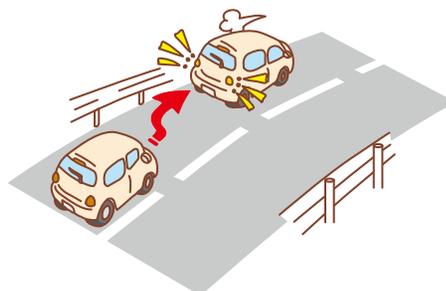
### 鉄道・バスに乗っているとき

- つり革や手すりにしっかりつかまる。



### 自動車運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。



### 大都市で地震に遭遇した時

まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本！安全な場所にとどまることを考えましょう。

- 道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。
- 駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります。駅周辺には近づかないようにしましょう。
- 発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。



# 火災対策

火災発生!そんなときどうする

## 住宅防火

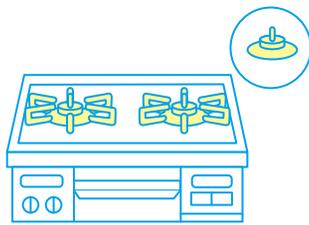
## いのちを守る10のポイント



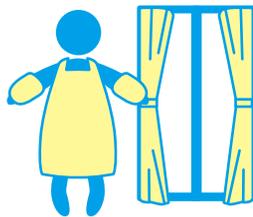
**1**  
寝たばこは絶対にしない、させない



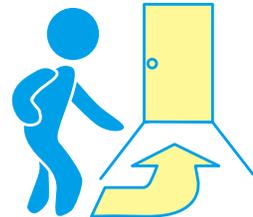
**2**  
ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



**1**  
火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



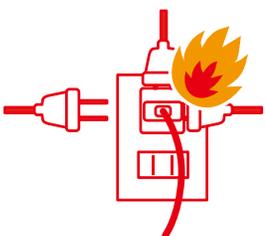
**2**  
火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



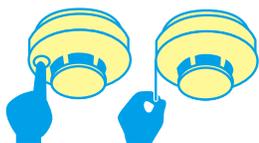
**3**  
お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



**3**  
こんろを使うときは火のそばを離れない



**4**  
コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く



**4**  
火災の早期発見のために、住宅用火災報知器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



**5**  
火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使用方法を確認しておく



**6**  
防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

## 消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけた上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

## 消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



# 火災予防が一番!!

## 火災報知機の設置義務化

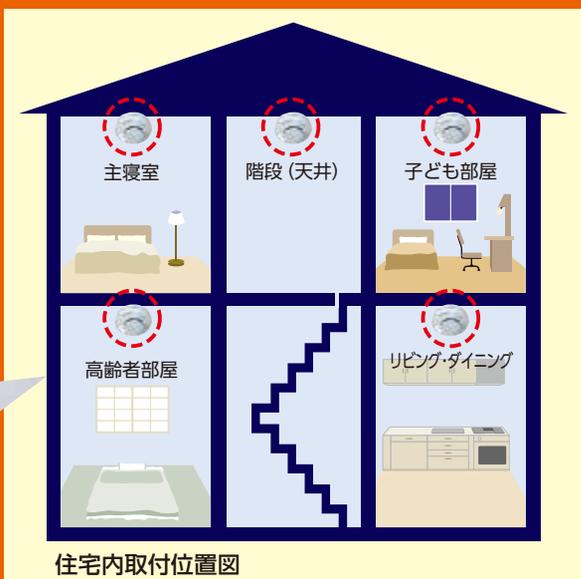
消防法の改正により、住宅用火災報知機の設置が義務付けられました。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

### 火災報知機の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置も必要です。

警報機



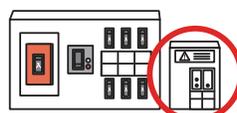
住宅内取付位置図

## 感震ブレーカーが効果的です

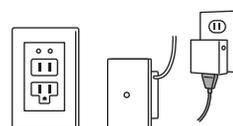
「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。



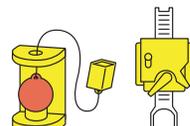
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

# ハザードマップの見かた・ライフライン

## 土砂災害防止法の概要

土砂災害防止法とは、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について危険の周知、警戒避難態勢の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進しようとするものです。

土砂災害防止法に基づき、都道府県が、土砂災害の「原因地」となる「土砂災害危険箇所」の地形や地質、土地利用状況などを調査し、土砂災害によって「被害のおそれのある範囲」となる「土砂災害警戒区域」(通称:イエローゾーン)及び「土砂災害特別警戒区域」(通称:レッドゾーン)を指定しています。

### 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

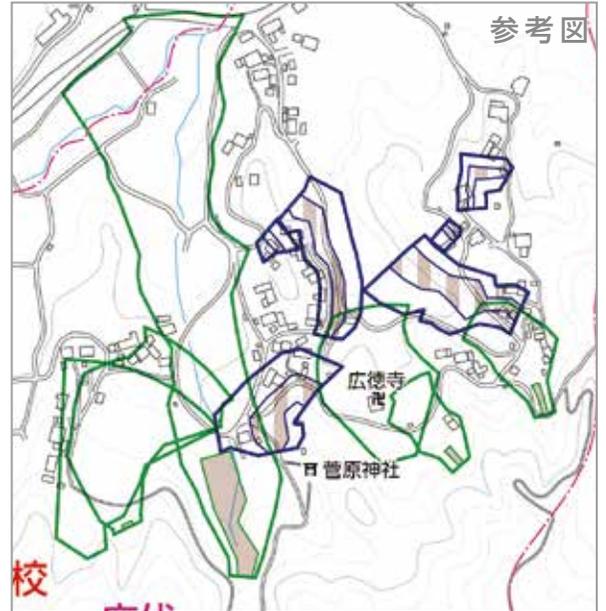
土砂災害が発生した場合、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域を指します。

土石流 警戒区域   
 (がけ崩れ) 急傾斜地崩壊 警戒区域 

### 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められた区域を指します。

土石流 特別警戒区域   
 (がけ崩れ) 急傾斜地崩壊 特別警戒区域 



## 洪水浸水想定区域図とは

洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保するため、洪水により相当な被害が生ずる恐れがあるものとして指定した「水位周知河川」等において、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と水深を示した図です。

降雨条件が淀川流域の12時間総雨量358mmのときの大雨を想定した結果にもとづいており、想定を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

淀川水系の名張川、布目川、深川、遅瀬川、笠間川の浸水する範囲を重ね合わせた最大値を表示されるように作成しました。

### ■浸水深の目安



## 洪水浸水想定区域図の内容

### 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

県内の水位周知河川等について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

### 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

県内の水位周知河川等について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水継続時間を表示した図面です。

### 洪水浸水想定区域図

[家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)]

県内の水位周知河川等について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、河岸の侵食幅を予測したものを表示した図面です。

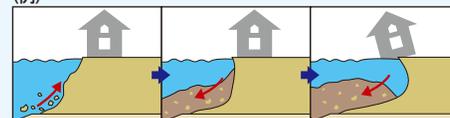
### 洪水浸水想定区域図

[家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)]

県内の水位周知河川等について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、氾濫流による家屋倒壊・流出等の危険性を表示した図面です。

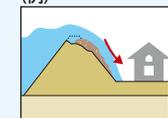
### 河岸侵食(かがんしんしょく)

激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られること



### 氾濫流(はんらんりゅう)

堤防の決壊に伴う激しい流れのこと



## 早期立退き避難区域について

家屋倒壊等氾濫想定区域と家屋が水没する恐れがある区域(浸水深3m以上)は早期の立退き避難が必要な区域です。この区域にお住いの方は、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難指示を待たずに自主的に避難することをご検討ください。

ライフライン関係機関

名称	電話番号
関西電力 奈良支店	0800-777-3081
NTT 西日本 奈良支店	113 (固定電話) 0120-444-113 (携帯)
こまどりケーブル(株)	0120-667-740
山添村役場 環境衛生課	0743-85-0047
// 農林建設課	0743-85-0046

## 関西停電情報

関西エリアの停電情報をスマートフォンがお知らせします!



今すぐダウンロード



関西電力送配電  
公式キャラクター  
おくりん

# 公共施設・集会所

## 公共施設・集会所

### 1 指定緊急避難場所

No	施設名	住所	対象とする異常な現象の種類					想定収容人数	指定避難所との重複
			洪水	土砂災害	地震	大規模な火災	内水氾濫		
①	旧北野小学校	北野1001	●	—	●	●	●	160	—
②	旧広瀬保育園（ブックカフェ）	広瀬225	●	—	—	●	●	220	—
③	やまぞえ小学校	春日1770-1	●	●	●	●	●	570	●
④	豊原公民館	三ヶ谷970	●	●	●	●	●	230	●
⑤	旧東豊小学校	岩屋2665	●	—	●	●	●	660	—
⑥	旧西豊小学校	箕輪680	●	●	●	●	●	750	●
⑦	山添中学校	大西1044	●	●	●	●	●	1120	●
⑧	東山公民館	桐山62-1	●	●	●	●	●	380	●
⑨	波多野公民館	春日1770-1	●	●	—	—	●	60	—
⑩	総合スポーツセンター	大西69	●	●	●	●	●	1030	●
⑪	ふれあいホール	大西1367	●	●	●	●	●	560	●
⑫	五月川センター	広瀬288-2	—	—	●	●	●	390	—
⑬	児童館・老人憩の家	西波多4922	●	●	●	●	●	290	●

### 2 指定避難所

No	施設名	住所	想定収容人数	指定緊急避難場所との重複	福祉避難所	空調の有無	空調使用時の収容人数
①	やまぞえ小学校	春日1770-1	170	●	—	●	60
②	豊原公民館	三ヶ谷970	60	●	—	●	20
③	旧西豊小学校	箕輪680	220	●	—	●	10
④	山添中学校	大西1044	330	●	—	●	100
⑤	東山公民館	桐山62-1	80	●	—	●	80
⑥	総合スポーツセンター	大西69	310	●	—	●	30
⑦	ふれあいホール	大西1367	160	●	—	●	160
⑧	児童館・老人憩の家	西波多4922	50	●	—	●	20
⑨	保健福祉センター	大西1395-1	30	—	●	●	30
⑩	特別養護老人ホームつつじの丘	大西1181	15	—	●	●	15